

千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼
2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344

<http://www.it-chiba.ac.jp/>

毎月1回(8月を除く)15日発行

ニュースガイド

- 2面 中台君に助成金/阿久澤さん菅野さん優秀発表賞/奥屋君、技能五輪に進出/谷津船橋 IC ポスターなど南澤君、申田君がデザイン
- 3面 入江主任研究員が研究奨励賞/最優秀著者に半沢教授/自動車部が準優勝/産学官フォーラム/イノベーション・ジャパン
- 4面 工作教室、理科教室/留学・宮本さん感想記/初の実験動物慰霊祭
- 5面 寺本研・人工イクラが人気/学内Wi-Fi 環境整備/出版案内
- 6面 葛南ロボット教室/CIT ものづくり採択テーマ/新紹介

水陸両用「櫻式號」

原発対応 強力ロボットを発表



がれきを走行する「櫻式號」



完全防水で水中でも作業できる

本学未来ロボット技術研究センター(fuRo)が開発し、三菱重工が生産・販売する原子力発電所向けの水陸両用ロボット「櫻式號」(サクフニゴウ)が9月25日、報道陣に公開された。産学連携に新たな時代を画する第一歩として、大学関係者や産業界から熱い視線が注がれている。

「櫻式號」は、東日本大震災の津波で破壊された福島第一原発の原子炉建屋内で、事故収束支援のための調査に活躍した「Quince」(クインス)のソフトウェア群を継承しながら、ボディ

記者団に走行をデモンストレーション



説明する古田所長



「Quince」とは打って変わったスマートな姿に生まれ変わった。系は完全に新規開発。手

fURO開発、三菱重工が生産販売

「櫻式號」は、その第一弾で三菱重工が生産し、電力会社やプラントメーカーなどに用途に応じた仕様を施して販売する。さらに今後は、両者が協力して広くCBRNE(化学、生物、放射性物質、原子力、爆発物)災害の収束支援に貢献するロボットを開発・生産していく計画だ。このような大学と企業との協力関係について、

開発に当たっては「Quince」を運用した現場からの「さらなる耐久性・信頼性の向上」「大規模かつより重い計測機器の搭載」「さらなる機動性の向上」などの要望を取り入れたが、最大の特長は水中でも作業ができる完全密閉の「防水性」。

古田所長は「大学・研究所が長い時間をかけて開発した技術を企業が製品化して販売する『ウインウイン』の関係こそが、これからの産学連携にとって重要だ」と語った。fuRoは1年前から「櫻式號」開発のためのチームを編成し、「Quince」で得た知見をベースに、ゼロからロボットを開発する作業に取り組んできた。チームのメンバーは、吉田智章上席研究員をプロジェクト総括に大和秀彰主席研究員、清水正晴主席研究員、戸田健吾主任研究員、小太刀崇研究員、西村健志研究員、荻原一輝研究員の7人。いずれも20〜30代の若手研究者だ。

「原子力災害の収束には20年、30年という長い年月がかかる。その間、技術開発の継続性を維持するためには、研究者も若い人でなければならぬ」と(古田所長) また、今

後、千葉工大で開発する災害支援ロボットは「櫻」シリーズとする。日本の国花というべき櫻に、それに続く式號、参號などの漢字を旧字体とすることで、見る人に『和』をよ意識させ、「日本が世界に発信する技術」であることを強調する意味がある。ちなみに未発表だが「櫻式號」も開発済みだ。記者会見場となった新習志野キャンパス9号館には、テレビ、一般紙、専門誌など45社の報道陣が集まり、千葉工大のロボットに対する関心の高さを示していた。

“夢”タペストリー 新習志野校舎図書館に

新習志野校舎図書館に9月25日、新しいタペストリー(5.5m×5.5m)がお目見えした。描かれているのは昨年の本学70周年の際、シンボルマークとした「夢」の文字。本学の前身・興亜工業大学の創立に尽力した玉川学園創立者・小原國芳先生の



タペストリーの前で(右から)瀬戸熊修理長、小原芳明玉川学園理事長・学園長、小宮一仁学長

書で「他の人より一つでも多くの夢を持ってほしい」とタペストリー部分が多くなっている。全人教育を提唱した小原先生が好きな言葉として生涯もっとも多く揮毫したが、この一画多い「夢」だった。

第64回
津田沼祭
Colorful
～僕ら色のキャンパス～
11月22日(金) 23日(土) 24日(日)

中台君に助成金 発展途上国へキッチン提案



デザイン科学科の中台翔太君(3年)が「写真」が研究する「発展途上国

の食文化に対応したキッチンの提案」が、公益社団法人インテリア産業協会募集の平成25年度「キッチン関連調査・研究活動助成」の助成対象に選ばれた。約8万円かかる研究費のうち、5万円が助成される。7月に応募し、このほど選定連絡が届いた。

を促すもの。栄養不足や感染症で命を落とすケースが多いことから考えたという。水質や加熱方法など衛生面も調理過程も日本と異なるが、日本のキッチン技術を応用できるものを探っていく。

奥屋君 技能五輪に進出

ITネットワークシステム管理部門

第8回若年者ものづくり競技大会(中央職業能力開発協会主催)は8月7、8日の2日間(二部種目は先行実施)、岩手県内の滝沢村、矢巾町などの4会場に300人を超す選手が参加して14職種が競われ、本学情報ネットワーク学科3年の奥屋雅人君、奥原綾君が

「ITネットワークシステム管理」に参加。奥屋君が23人中1位(優秀技能賞)を獲得し、11月22、25日に幕張メッセで開催される技能五輪全国大会・職種種への出場権を得た。奥原君は5位で、上位3人に与えられる技能五輪出場権は逃したが健闘が光った。

ITネットワークシステム管理の競技は、サーバ用デスクトップPCやルータ、LAN用のケーブルなどが与えられて、4時間の制限時間内に信頼性のある情報通信システム・サーバシステムを構築、インターネットへの接続も含めた社内ネットワーク構築技術を競う。

ハードウェアパフォーマンスの最適化のためのBIOS(周辺機器を制御するプログラム群)設定やLANケーブルの製作、各種サーバ(DNS、メール、Web、ファイル共有など)の設定(セキュリティ対策を含む)、トラブルの修復など、さまざまな設定、運用管理能力が試される。技術者は経験、知識だけでなく、即断力と想像力も求められる。

奥屋君は、サーバシステムやネットワークの設定、構築、セキュリティ対策など、幅広い知識と実践力が必要とされる。奥屋君は、サーバシステムやネットワークの設定、構築、セキュリティ対策など、幅広い知識と実践力が必要とされる。

また、小倉大知君(同学科3年)は参加申請したが人数枠外となり、参加できなかった。しかし小倉君は、自転車を新調して千葉から1日半かけて岩手入りし、奥屋君と奥原君を激励、応援した。

「前回は、前回の先輩を超えたくて、がむしゃらに特訓を繰り返しました。1番という成績を残せ、信じられないくらいいいです。そして技術者として、他の参加者よりも、要求された仕事を正確に実現したい。奥屋君は「前回参加できなかった。目指すは、あくまで金メダル」と語った。

能五輪全国大会への意気込みを「多くの企業から専門技術者が参加し、強豪ぞろいとなりますが、自分の力がどこまで通じるか試してみたい。目指すは、あくまで金メダル」と語った。

また、小倉大知君(同学科3年)は参加申請したが人数枠外となり、参加できなかった。しかし小倉君は、自転車を新調して千葉から1日半かけて岩手入りし、奥屋君と奥原君を激励、応援した。

また、小倉大知君(同学科3年)は参加申請したが人数枠外となり、参加できなかった。しかし小倉君は、自転車を新調して千葉から1日半かけて岩手入りし、奥屋君と奥原君を激励、応援した。

また、小倉大知君(同学科3年)は参加申請したが人数枠外となり、参加できなかった。しかし小倉君は、自転車を新調して千葉から1日半かけて岩手入りし、奥屋君と奥原君を激励、応援した。

ロボット動作を感性から調べる

阿久澤さん 優秀発表賞 菅野さん

富山研究室

介護支援ロボットが人と快く触れ合えるよう感性面から研究する未来ロボットに専攻・富山健

研究室内の阿久澤拓巳さん(研究生)と菅野翔平さん(修士1年)が、第14

回日本感性工学会大会(昨年8月30日~9月1日、東京都足立区の東京電機大で開催)で優れた研究発表を行ったとして、2人とも優秀発表賞に決定。第15回大会(今年9月5日、東京都杉並区の東京女子大で開催)の会場で表彰された。

菅野さんの発表は「動きにおけるかわいさの研究」。ロボットの色や形だけでなく、動きのかわいさに着目して、動きのかわいさを感じられる傾向にあったという。

「Roomba(ルンバ)」を使って、動きを10種類に分け、どの動きにかかわいさを感じるか質問調査した。平たい円形のルンバは単純な動きの組み合わせで動くので、動きを区切りやすい。形も単純で色や形に左右されず、動きのかわいさを調査できた。その結果、「滑らかな動き」というように、特定の形容詞表現を持った動きが、かわいさを感じられる傾向にあったという。

菅野さんは「動きのかわいさ」は、あいまいで捉えにくいけれど、工学的な解析により数値表現できると思います。人が、動きのどこに着目してかわいさを感じるのか、研究によって分かってくるのではないかと語る。

一方、阿久澤さんは研究室のプロジェクト「感性表出プラットフォーム」の開発と印象評価を発表した。腕の長さ、動作など外装を変えられるプラットフォームロボット(KEPRO)を開発し、その動作を評価して、人の感性に合ったロボット作り

に役立てる。今回は、外装デザインにデザイン科学科の山崎和彦研究室、佐藤弘喜研究室の有志の協力を得て、身長130cmのKEPROを開発。▽理学療法・リハビリ分野で使われる加速度センサーをロボットに適用、動作の円滑さを測れるかをロボットアームの手先の動きで検証▽物を受け渡す際、腕の長さが違う(プロポーションが違う)



受賞した阿久澤さん(左)と菅野さん

研究室のプロジェクト「感性表出プラットフォーム」の開発と印象評価を発表した。腕の長さ、動作など外装を変えられるプラットフォームロボット(KEPRO)を開発し、その動作を評価して、人の感性に合ったロボット作り



串田君制作の表紙

南澤君制作のポスター



デザインした南澤君(右)と串田君

デザインした南澤君(右)と串田君。表紙を担当した串田君は「目線の流れに注意して作りました。何度も作り直し、大変でしたが、勉強になりました。貴重な体験をさせていただきました」と語った。

谷津船橋インター

南澤君 串田君 がデザイン

開通ポスターとパンフレット表紙

東関東自動車道の新しい出入り口「谷津船橋インターチェンジ(ICC)」が9月20日に開通。これを伝える開通ポスターを本学デザイン科学科の南澤裕文君(4年)が、開通記念パンフレットの表紙を串田隼人君(同)が制作し、広く活用された。

開通事業を進めてきた東支社が地元・本学にデザインを、と依頼。デザイン科学科の学生たちが競作し、コンペを経て2

紙を串田隼人君(同)が制作し、広く活用された。開通式典は当日の20日、福祉施設「ゆいまーる習志野」(習志野市秋津)に高橋渡副知事や松戸徹船橋市長、宮本泰介習志野市長が出席して行われ、式典終了後に本学の学生たちの取り組みが



南澤君制作のポスター



串田君制作の表紙



デザインした南澤君(右)と串田君

デザインした南澤君(右)と串田君。表紙を担当した串田君は「目線の流れに注意して作りました。何度も作り直し、大変でしたが、勉強になりました。貴重な体験をさせていただきました」と語った。

最優秀著者に半沢教授

学会論文誌が業績評価

工学部教育センター化
学教室の半沢洋子教授が
写真が、筆頭著者として
「Journal of Oleo
Science」に発表した
主要論文が、同誌が選
定する第4回「Best
Author (最優秀著者)」
に決まり、学会の第52回
年会(9月3~5日、仙
台市青葉区の東北大・川

に、グリーンケミストリ
ーが希求される中、従来
の強酸触媒ではなく、取
り扱い・価格・安全性に
優れたヨウ素を触媒に用
いた無溶媒条件下での二
トリルを用いたアミドの
合成について投稿し、高
く評価された。

受賞について半沢教授
は、教育センターで研究
機会を与えてくれた鶴澤
博教授、笠嶋義夫教授、
共同研究者の橋本准教授
に深く感謝したい、と話
し「身に余る光栄です。
これを励みに努力しま
す」とコメントを寄せ
た。



内北キャンパスで開催
会場で表彰された。

加藤強士君(機械サイ
エンス学科3年・前主
将)、藤枝巨君(同・主
将)、多門寛晃君(電気
電子情報工学科3年・副
将)の3人チームが男
子団体の部で準優勝し
た。個人の部でも多門君



準優勝した自動車部

村上交授の発表テーマ
は「マイクロソームを活
用した環境リスク評価解
析技法」。われわれの周
囲にあふれている化学物
質の環境への影響評価
を、プラスチックの中に閉
じ込めた微生物モデル生態
系を使って計測すること
で、より正確で用途の広
い環境リスク評価手法を
開発しようというもの。
マイクロソームシステ
ムは、プラスチックの中に緑

藻類などの「生産者」と
微小後生動物などの「消
費者」(分解者)である細
菌類を入れたもので、自
然生態系と同様に食物連
鎖などの生物間相互作用
や物質循環・エネルギー
フローといった生態系の
基本原理を含有している。
このシステムを活用
することで、実際の生態
系により近い状態での化
学物質などの環境リスク
影響評価が可能となり、
生態系の盛衰を数値とし
て捉えられるという。

国内大学の研究成果と
産業界が出合って、新た
な価値を生み出そうと
「イノベーション・ジャ
パン2013」大学見本
市&ビジネスマッチング
―(科学技術振興機構
など主催)が8月20、30
日の2日間、江東区・東
京ビッグサイトの東京国
際展示場で開かれた。

教授と大学
院工学研究
科博士課程
1年の城谷
友保さん、
田中一平さ
んが対応に
あたり、従
来技術に比
べ新規な点
や優位性、
事業化や産
業形成の可
能性につい
て説明し
た。

入江 f u R O

主任研究員 研究奨励賞

ロボットの位置認識技術を高度化

学術講演会があり、会場
で表彰された。

入江主任研究員は、友
納正裕副所長とともに、
ロボットが目的地まで自
律移動する技術を研究し
ている。例年参加するつ
くばチャレンジ」公道
で課題機能を実証実験す
る大会では、常にトッ
プの成績を維持してい
る。

「全日本学生ダート
トライアル選手権大会」は
全国5支部の選手権を勝
ち上がった強豪19校が参
加して8月4日(日)、
栃木県那須塩原市の丸和
オートランド那須で開か
れ、本学体育会自動車部

コースに従って悪路を走
り、タイムを競う。団体
戦は1チーム3人の合計
タイムで決まり、タイム
差が1秒未満で順位が変
動する。実際、本学が3
位・東海大の差はわずか
0.686秒差だった。

男子チームは昨年度の
全日本大会では団体5位
だった。「今年こそ」と
気合を入れて臨んだ。午
前の1走目で1位だった
が、午後の2走目、日本
大(1位)の追い上げに
耐えきれず、惜しくも優
勝を逃した。

資金力で負ける本学自
動車部は、有名強豪校の
パワーのある新式車両に
ここ数年、辛酸をなめさ
せられてきた。

個人3位の多門君は
「競技はお金ではなく、
技術と努力で勝ち取るも
のと示したかった。優勝
を逃し非常に悔しい。今
後は後輩の育成に力を入
れます」と語った。

同会場では女子の部も
行われ、11人が出場。本
学の伊藤彰さん(電気電
子情報工学科2年)は健
闘したが、入賞はならな
かった。

伊藤さんは「初出場
で、うまくいかなかった
面もあります。後輩の女
子が入部し、来年は女子
も団体戦に出場できる人
数になるので、何とか結
果を出したい」と語った。



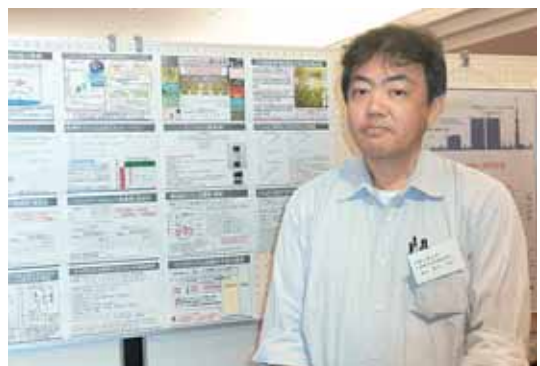
全日本学生ダートトライアル

自動車部が準優勝

藤枝主将ら3人チーム

村上教授が講演

千葉エリア 産学官フォーラム



利教授)▽ポータブル電源
の開発と特性評価(電気電
子情報学科・佐藤宣夫准教
授)▽要支援・要介護認定
者の日常生活動作に準拠し
た身体機能測定機器の開発
(工学部教育センター・金
田晃助)▽コンフォメー
ション病治療薬の創薬を支
援する分子シミュレーショ
ン技術の開発(生命環境科
学科・山田文富教授)

学科・山本典史助教)▽常
にユーザの視界内に情報提
示するインタラクティブな
情報投影システム(情報工
学科・今井順一准教授)▽
顔映像に対する表情編集シ
ステム(情報ネットワーク
学科・中村直人教授)▽エ
ーシエントベースによるポ
トムアップ型の人工経済社
会モデル(経営情報科学科
・荻林成章教授)▽メディ
アユニバーサルデザイン評
価方法(デザイン科学科・
長尾徹教授)▽鉄筋鉄骨構
造物の柱梁溶接接合部の破
壊解析法・建築都市環境学
科・山田文富教授)

CITものづくり

夏休み「工作教室」を開催



CITものづくり工作教室チーム(千葉亜沙斗代表)は8月29日、夏休み最後の小中学生を対象に「工作教室」写真撮影を習志野市市民プラザ大久保で開いた。

用意した企画は「LED懐中電灯」づくりや「そば工作キット」。「まだ間に合う自由研究」マインス196度の世界を

ものづくりチームが工作教室を開くようになっただけでは、物足りない。作る過程で自分たちの知識を伝えて発信することで、社会貢献できた「良いな」と考えた結果という。



公開講座

江口さんは、自身が考え付かなかった実験や工作を他大学などがしている姿



「サイエンスリンク」で

子どもたちは、工夫すれば風車がきれいに回ることを知り、できた風車を手に喜んでいました。

「理科教室」も 風車や望遠鏡づくり

CITものづくり理科教室チーム(伊藤彰代表)は8月17日、東京・お台場の日本科学未来館7階で開かれた「サイエンスリンク」カカクの海へ「サイエンスリンク」に参加。江口さんらは「流体」を分かりやすく説明した

「理科教室」も風車や望遠鏡づくり。藤後輔君(同)の4人。科学を分かりやすく伝える大学の集まり「サイエンスリンク」(サイエンスコミュニケーション活動)に誘われて参加した。

を見て、科学やものづくりは奥が深いと感じたという。「NPOや高校生も参加し、物理・化学のほかエコや建築分野もあって、刺激になりました。今後もアクションをたくさん起こして活発な団体にしていきたい」と語った。

また、理科教室チームは8月20日、津田沼校舎2号館で開催された公開講座「学生と一緒に夏休みの自由研究」に身近なものでおもちゃを作ろう!!に参画した。相川文弘教授(工学部教育センター)と高橋芳弘准教授(機械サイエンス学科)を講師に、紙コップなど身近なもので風車や糸電話、ガリレオ式望遠鏡を作る催し。原理を説明して、子どもたち

視野を広げ素早い行動を

トロント大 宮本さんが感想記

昨年9月9日からカナダのトロント大に交換留学していた未来ロボティクス専攻修士2年の宮本将仁さんが、9月7日に帰国。現地を感じたことや、留学を目指す学生へのアドバイスを書いた。宮本さんはグローバルに生きたい夢があり、語学を磨き研究体験を、と本学と大学院生(院進学予定者含む)同士の海外交流協定を結ぶトロント大理工学部留学。研究室に所属し、介護ロボットを研究した。



初の実験動物慰霊祭 関係者が参列し献花

平成25年度実験動物慰霊祭が9月18日、津田沼キャンパス2号館で執り行われた。慰霊祭は本学の教育・研究活動に貢献した実験動物を供養するために今回初めて開かれた。小宮一仁学長をはじめ教職員・学生約1000人が参列。参加者が順番に献花し、実験に供された動物たちに、感謝と哀悼の意を捧げた。本学は、科学技術の発展がこのような動物たちの犠牲の上に成り立っていることを再認識し、今後も強い倫理観を持って教育・研究活動に従事していくことにしている。

平成26年度 交換留学説明会

日時: 平成25年10月25日(金)・10月29日(火) (内容は同じです) 両日とも12:15~

場所: 津田沼校舎 7号館 7404教室

- アメリカ・カナダ・フランス・台湾・中国への研究留学!
- 留学体験者による体験談や懇話会予定!
- 専攻の授業は大学教員または大学院進学予定者!
- 留学に興味のある学部学生もぜひご参加下さい!

事前の申込みは不要です。募集要項は説明会にて配布予定です。

留学先: The College of Engineering of The Pennsylvania State University, Faculty of Applied Science and Engineering, University of Toronto, Ryerson University, Université de Technologie de Compiègne, Harbin Institute of Technology, National Taipei University of Technology

問い合わせ/留学支援課(1号館1階) 電話: 047-478-0245 E-mail: kouryu-1st@chiba-koudai.jp

「人工イクラ」が人気

生環・寺本研究室が出前教室



東習志野コミュニティセンター、習志野市子ども会育成会連絡協議会などが親子のために開いている「一日まるごと遊んじやおう！」(同センターとその周辺で開催)に、9月7日(土)、本学生命環境科学科の寺本純准教授の研究室が参加。「人工イクラを作ってみよう!」いろいろな色の「イクラ?」教室を開いた。

一日まるごと遊んじやおう!

昨年11月、「世界一行きたい科学広場 in 浦安」で披露し、子どもたちに喜ばれたもの。顔料・染料を加えたアルギンナトリウム水溶液、塩化カルシウム水溶液から人工イクラ(カプセル状のアルギン酸カルシウムゲル)をつくる。寺本准教授と研究室の矢野慎也さん(修士2年)ら学生4人が、やさしく指導した。子どもたちは教わったとおり、ストローをコップに挿して1滴、また1滴と慎重にしずくを落とし、コップの中に黄、

赤、緑と色どりのイクラが生成されていく様子を楽しんだ。写真。イベント会場には工作や折り紙、ペンシルパルーン、フェイスペイントなど、盛りだくさんの遊びがあった。その中でも「イクラ」コーナーは異色の存在。親子で、科学の不思議な世界に触れ、驚いたり感心したりしていた。

タブレットやスマホつながりやすく Wi-Fiポイント 学内整備

夏期休業中を利用した学内ネットワークの更改整備が9月30日、完了した。iPadなどのタブレットやスマートフォンを軽くにインターネットにつなげられるよう、既設と合わせ計540台ものWi-Fiアクセスポイントを設置。これにより、全ての講義室、実験室やラウンジ、ホールなどでタブレットやスマートフォンが使えるようになった。講義室で手軽にネット接続できるようになったことから、iPadを活用した講義も期待されている。災害など非常時には校舎が避難所として使われることから避難者への開放も考慮されている。接続にはMARINEアカウントが必要。アクセスポイント名などは次のとおり。



米航空宇宙局(NASA)が36年前に打ち上げた探査機「ボイジャー1号」が太陽系外の星間空間に旅立ったというニュース

生命あふれる宇宙

生命はどこから来たのか?

―アストロバイオロジー入門―

著者||松井孝典(惑星探査研究センター(PERC)所長)
出版||文芸春秋(文芸新書)
価格||872円(税込み)



松井孝典所長

「イオロジ」と名付けられた。本書は極めて多様な分野からなるこの「アストロバイオロジー」を、満ちあふれていると考えている。NASAは、21世紀の宇宙探査のテーマを「生命はどこから来たのか?」とし、「アストロバイオロジー」の一貫性を持たせながら、

一般の読者が読みやすくまとめている。惑星科学の第一人者であるこの著者にして初めて書き得た入門書である。著者はギリシャ以来の「生命起源論」の根源的な問いは「生命とは何か」「生命はいかに地球に出現したか」「われわれは宇宙で孤独な存在なのか」であるとし、さらにこれらは「われわれは何者なのか」という、より根源的な問いにつながっている。そして、これに21世紀の学問はどう迫っているかを①アストロバイオロジーとは②生命起源論の歴史的展開③宇宙と生命④生命とは何か―地球生物学の基礎⑤生命と環境の共進化⑥分子レベルで見える進化⑦極限環境の生物⑧ウイルスと生物進化⑨化学進化―生命の材料物質の合成⑩宇宙における生命探査―の10章にわたって論じている。

アクセスポイント名 (SSID) 新習志野キャンパス||Shin-araiapl(iPadminiのみShinnaraiapl)、津田沼キャンパス||Tsudanuma-apv(パスワード(キー)||SSIDと同じ)WPA2(WPA2TPSKパーソナル)▽暗号化の種類||AES

就職支援 ● 今後の主な予定 (平成25年度10~12月)

名称	開催日	時間	内容
女子学生対象支援	10/24 (木)	14時50分~16時20分(働き方)、16時30分~18時(メイク・マナー)	理系女性の働き方と明るく賢く見えるマナー・メイク
実践就職トレーニング【STEP3】	10/31 (木)	13時10分~16時20分(2コマ)	10/3開催【STEP1】、10/17開催【STEP2】で学んだ内容を基に、エントリーシートの書き方を学び、書く
業界セミナー	10月下旬~11月下旬	参加予定業界など、詳細は後日揭示	各業界を代表する企業の方を招き、業界の現状や今後、仕事に対する理解を深めます
エントリーシート(ES)・履歴書を書いてみよう!	11/5 (火)~8 (金)	16時30分~18時 ※11/7 (木)は13時10分~14時40分、14時50分~16時20分の2回	企業の要求を理解し、「伝わる」ESのポイントを解説します。ESで多く出題されるテーマを実際に書いていただき、個別に添削した結果を後日返送します
履歴書用写真撮影会	11/14 (木)・15 (金)、12/4 (水)・5 (木)・6 (金)・17 (火)・18 (水) ほか	10時~13時、14時~17時	履歴書用写真の撮影会です。一般の写真店よりも、安く撮影できます
実践就職トレーニング【STEP4】	11/28 (木)	13時10分~16時20分(2コマ)	就活マナー、面接マナー、一次面接のチェックポイントを学び、面接質問対応の完全トレーニングを行います
筆記試験対策:SPI2(テストセンター対策)(有料)	申し込み時~	自宅実施	就活筆記試験の中で、最もシェアの高いSPI2。最近主流のテストセンター(WEB)は慣れることが必要です。WEB形式に慣れ、苦手意識を失くすチャンスです
U・Iターンガイダンス	12/5 (木)	13時10分~14時40分、14時50分~16時20分の2回	UターンやIターンなど、地方での就職を考えている方へのガイダンスです。地方での就職活動は、首都圏へ就職する場合と多少ずれがあります。情報収集など早い時期から準備をし、効率良く活動するための対策を立てましょう
筆記試験対策:CAB・GAB/クレペリン(有料)	12/5 (木)、6 (金)	CAB・GABは120分、クレペリンは90分 5日(木)は13時10分~、6日(金)は16時30分~	就活における筆記試験で、SPI2に続き高いシェアの「CAB・GAB」と「クレペリン」。この時期に傾向をつかみましょう
就活マナー講座~実践編~	12/10 (火)~12日(木)	16時30分~18時30分	【50人限定】自己紹介や入退室を体験し、ビデオ撮影します。映像を振り返り、立ち居振る舞いに自信をつけましょう
実践就職トレーニング【STEP5】	12/12 (木)	13時10分~16時20分(2コマ)	二次面接、役員面接のチェックポイントを学び、面接質問対応の完全トレーニングを行います
OB・OG懇談会	12/14 (土)	終日(詳細は後日お知らせします)	必ず参加してください! 約150社のOB・OGを招き、企業説明や採用に関するアドバイスをいただけます。OB・OGならではの貴重な話が聞けるチャンスです
【仮称】千葉県大学就活応援セミナー	12/14 (土)	後日お知らせします(会場は幕張メッセ)	千葉県内の大学生を対象の合同企業説明会です
ES・履歴書を書いてみよう!振り返り	12/18 (水)、12/19 (木)	12/18 (水) 16時30分~18時 12/19 (木) 13時10分~14時40分	「ES・履歴書を書いてみよう!」で書いた添削結果をもとに、より伝わる内容に仕上げるためのポイントをお話します。年明けからの提出に備え、年内に更なるレベルアップをしましょう
実践就職トレーニング【STEP6】	12/19 (木)	13時10分~16時20分(2コマ)	自己の目指す企業に向けて、就活管理シートに基づき就活行動計画を立て、自己管理の手法を学び、習得します

※行事の詳細(会場など)確認や申込みは就職システムをご利用ください。 ※各行事は受け入れ人数に限りがあります。都合が悪くなった際は、必ずキャンセルしてください。
※各行事は都合により、開催日、時間に変更になることがあります。ご了承ください。

親子でロボット製作体験

『葛南教室』 本学が協力



先川原室長のロボット講演

夏休みを有意義に締めくくってもらうと、葛南地域(市川・船橋・習志野・八千代・浦安市)の小学4~6年生とその父母を対象にした初めての「葛南ロボット教室」が8月29日、津田沼キャンパス2号館で開かれ、20組・合わせて45人の親子が参加した。千葉県の要請に本学が全面協力して実現した。

午前中は、未来ロボット技術研究センター(fuRo)の先川原正

浩室長が、ロボットが現代社会でどれだけ役に立っているか、また、ロボット研究の面白さを完全自動運転の試作車や、重い荷物を背負ってどんな地形も踏破する4足歩行ロボットなどの映像を使って分かりやすく解説。さらに参加者は福島第一原発で活躍中の「クイーンズ」の元となった「ケナフ」を見学。工作ゼンターでは、どんな物でも水で切断するウォータージェット切断機の威力に



親子で工作キット作り

鈴木勝之部長(未来ロボティクス学科2年)ら6人の会員が入って参加者を手助けした。6年生の息子と参加した母親は「私が千葉工大のスカイツリータウンキャンパスを見学してロボットの興味をもち、県のホームページで教室のことを知って息子に勧めました。また、4年生の娘と妻とで参加したという男性は「うちの子は手先がとても器用。将来は女性ロボット技術者も面白いかもね」。

2~3時間の挑戦で自分のロボット戦車を作成させた子供たちは、歓声を上げながら実際に動かして達成感にひたっていた。最後は目下部総入試広報部長が「これをきっかけに皆さんが将来、工学系の大学に進んでくれたらうれしいですね」と締めくくって、この日の

教室を終えた。

新任紹介

今村 創平

(建築都市環境学科准教授)



キャンパスは明るく気持ちがいい。学生と一緒に建築や都市の問題を考えていき、また、建築の持つ魅力を学生に知ってもらえれば、うれしい。趣味は読書、美術鑑賞、執筆。

四季雑感



2度目の転職で本学に勤務するようになり、1年半が経過しました。様々なことに慣れ、古株の先生に「何年目だったか?」と確認されるほど、すっかり新鮮味を失い、生来の態度の大きさを発揮しています。職場環境の変化は、楽

同窓会



秋と言えば、食欲の秋ですね。この季節になると必ず食べたくなるのが松茸です。松茸は、赤松の根に生える菌根菌で養分の少ない場所を好み、その年の気候次第でとれる量が異なります。今年は昨年より収穫されているそうで

も輸入されることが多くなりました。輸入物でも品種的には日本の物とほとんど変わらないのですが輸入物なので時間が経っているのと検査検査で洗ってしまうので風味が落ちてしまっているようです。国内産の松茸を炭火で炙焼きはちょっと手が届きそうにもありませんが松茸ご飯だけでも食べた

「CITものづくり」25年度テーマ決まる

平成25年度「CITものづくり」活動の採択テーマが、左表のように決まった。公募型案件、学

生提案型は49件。学生たちに、ものづくりへの興味と発案製作の実行力を養ってもらおうと、毎年「CITものづくり支援委員会」がテーマ以外からの公募型

の2種類。提案が採択されると、原則1年間の支援(上限20万円の支援金)を受けられ、新習志野校舎の自由作業室、共通作業室なども利用できる。

原則1年間の支援(上限20万円の支援金)を受けられ、新習志野校舎の自由作業室、共通作業室なども利用できる。

原則1年間の支援(上限20万円の支援金)を受けられ、新習志野校舎の自由作業室、共通作業室なども利用できる。

公募型テーマ		アドバイザー
1	Hyper 竹トンボ・積層木トンボの制作	石塚 明夫
2	学内有用資源の再生と地域貢献への新提案	谷合 哲行
3	再利用を目的とした廃液・廃棄物処理プロジェクト	谷合 哲行
4	江戸和竿の製作	近藤 誠
5	工作マシンによるモノづくり ~体験型職業訓練コミュニケーション協働作業~	大林 光次
6	初心者からのレーザークラフト	佐々木政貴
7	学外に視点をのびたものづくりプロジェクト	鈴木 詳治

学生提案型テーマ		アドバイザー	申請責任者	学科
1	サザエさん 磯野家のインテリア模型を作ろう Part2	上野 義雪	佐藤 彩	デザ
2	可変型ロボットの作製	米田 完	鈴木 大河	ロボ
3	薬師寺 東塔 1/30軸組模型	渡邊 勉	北岡 勝敏	建都
4	からくりで動く動物模型の製作	植草 昌彦	浅間隆太郎	機サ
5	災害時簡易伝言揭示システム (レーザープロジェクター)	竹本 篤郎	布川 淳	金融
6	無限ピタゴラススイッチ	菊池 耕生	大谷 亮介	ロボ
7	理科教室	小野田貴之	伊藤 彰	電情
8	太陽電池パネルを用いた 電動バイク充電システムの製作	脇田 和樹	金丸 昂太	電情
9	着ぐるみ	伊藤 晋平	谷野 麻子	情報
10	遠心注型機の製作	石塚 明夫	瀧波 智	デザ
11	真空を用いた加工機械の製作	石塚 明夫	赤池 拓海	機サ
12	二関節筋を使ったロボット	菊池 耕生	霜村 瞭	ロボ
13	Android アプリ開発	熊本 忠彦	賀瀬 裕介	情ネ
14	生活の役に立つガジェット製作	小野田貴之	松下 和樹	建都
15	アクリル細工	鈴木 憲子	戸谷 広樹	金融
16	デジタル震度計の製作	依田十久子	北川 仁哉	情報
17	非常用スタンド	依田十久子	星野 敬亮	電情
18	観て楽しいイルミネーション装置の製作	小倉 幸子	青山 龍	金融
19	工作教室	小倉 幸子	千葉亜沙斗	機サ
20	野菜工場	関上 悦子	千葉亜沙斗	機サ
21	生体デバイスの開発	関上 悦子	高島 翼	金融
22	VR体験 ~Kinect で仮想世界に触れてみよう~	中川 泰宏	早乙女拓也	情ネ
23	機構を学ぶことを目的としたモーター製作	竹本 篤郎	山口 崇仁	金融
24	アクアリウム	村越 祐子	原田 拓実	電情
25	情景ジオラマを作る	村上 吉信	前田 拓海	ロボ
26	学生向けポータルWeb サイトの開発及び負荷分散システムの構築	原 英樹	落合 涼	情報
27	おしゃれ家具を作る	三須 敏行	金谷 浩成	ロボ
28	FeliCa とネットワークによるセキュリティ	山中 裕和	佐藤 優介	金融
29	複雑機構を搭載した機械式腕時計	大谷 親	田中 智章	機サ
30	PHP を用いたクラウドアプリケーション	小倉 幸子	酒詰 孝之	電情
31	3Dプリンタを用いたものづくり	山中 裕和	嶺井 秀平	情報
32	オーディオ製作	小澤 俊平	宇津野仁史	電情
33	自立した飛行体の製作	大谷 親	田中 智章	機サ
34	羽ばたく飛行機	松井 伸介	千葉 俊之	機サ
35	レトロフューチャーな時計の製作	林原 靖男	佐藤 優樹	ロボ
36	自学自律の食育のための料理マニュアル作り	遠山 正朗	飯生 瑞貴	PM
37	実用電子機器の製作	三須 敏行	井上 佑寿	電情
38	千葉工大生に役立つアプリ開発	今野 将	蔵本 凌成	ロボ
39	工業系ならではのキーホルダー作り	大嶋 辰夫	日高 巧大	デザ
40	Tシャツ制作	石原 沙織	大島 惇	建都
41	機動戦士ダンボールガンダム	大嶋 辰夫	裕田 健皓	デザ
42	日本伝統色を天然由来で生み出す色作りプロジェクト	遠山 正朗	松田 健	PM

編集だより



10月と言えば、衣替えが行われ、秋の深まる月。食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋、芸術の秋と、「なんて欲張りな季節なんだ!」と思う。この他にも、よりのりみどりのりに連続が続く秋に、あえて私はハロウィンにこだわりたい。

そもそも日本にはあまり馴染みのないこのイベント。街角や店頭に彩られる装飾に、睡らされているだけとの噂もあるのだが(笑) そもそもの由来を説明すると長くなるため、簡単に西洋のお盆のようだが、ただ「...南瓜を使った提灯は死者の霊を導いたり、悪霊を追い払うための焚き火で、まさに日本のお盆の「迎え火」「送り火」のよう。

昨年、子供たちの驚く顔が見たくて、夜中にせっせとハロウィンの飾りつけをした。玄関扉にも手作りの旗を飾り、満足いく手ごたえを味わった。しかし、忙しいにも関わらず、その飾りつけがそのまま年目を迎えることに驚いている。今年の飾りつけの時間が省けると、とりあえず笑うしかない(苦笑)。 入試広報課 大橋 慶子